

令和4年度 各教科の評価と評定について

年 組 番 氏名

高知市立南海中学校

1. 観点別評価と評定について

(1) 【観点別評価】

それぞれの教科で身につけてほしい内容について、各観点の実現状況を見ています。そのうちその観点について「十分満足できる」と思われる場合には『A』がつき、「おおむね満足できる」思われる場合には『B』がつき「努力を要する」と思われる場合には『C』がつきます。

各観点で複数回行った評価結果A, B, CをそれぞれA=3、B=2、C=1として数値化し、平均して総括します。総括の結果2.5以上を『A』、1.5以上を『B』、それより下を『C』として算出します。(学期末の教育相談のときに詳しく説明します)。

評価	観点別平均値		
A	3.0	≥	平均値 ≥ 2.5
B	2.5	>	平均値 ≥ 1.5
C	1.5	>	平均値 ≥ 0

(2) 【評定】

各教科の評定は、学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を右の表のように区別して評価を記入しています。

5…『十分満足できるもののうち、特に程度が高い』状況と判断されるもの
 4…『十分満足できる』状況と判断されるもの
 3…『おおむね満足できる』状況と判断されるもの
 2…『努力を要する』状況と判断されるもの
 1…『いっそう努力を要する』状況と判断されるもの

(3) 【観点別評価の組み合わせと評定の関係】

上記(1)の観点別総括結果により算出した観点別評価をそれぞれA=3、B=2、C=1として数値化し、その合計で評定を算出する。下記に観点パターンと評定の関係表を示す。

	観点別評価			観点合計値	評定
	I	II	III		
①	A	A	A	9	5
②	A	A	B	8	4
③	A	B	B	7	3
④	A	A	C	7	3
⑤	A	B	C	6	3

	観点別評価			観点合計値	評定
	I	II	III		
⑥	B	B	B	6	3
⑦	A	C	C	5	3
⑧	B	B	C	5	3
⑨	B	C	C	4	2
⑩	C	C	C	3	1

2. 教科別の評価規準と評価基準について

国語		知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準		社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。
評価基準	単元テスト	観点別項目の平均得点	観点別項目の平均得点	
	ノート ワークシート レポート 作品 発表 行動観察	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 学習した語句や文法を正しく理解し、言語を適切に活用している。 ➤ 学習した語句や表現を、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。 ➤ 楷書や行書の特徴を理解し、効果的に文字を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 ➤ 聞き手や読み手を意識して語句や表現を見直し、文章を整えている。 ➤ ・文章を読んで構成や内容を適切に捉え、自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 積極的に表現を工夫して話したり、文章を書いたりしている。 ➤ 粘り強く自分の考えをまとめ、文章の構成を工夫したり推敲したりしている。 ➤ 積極的に内容を解釈し、学習課題に沿って理解したことや考えたことをまとめようとしている。

社会		知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準		我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
評価基準	単元テスト	観点別項目の得点	観点別項目の得点	観点別項目の得点
	ノート	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学習した語句などが正しく理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 資料やなかまの意見をもとに考え話し合いや発表ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ワークシートの記述で、学習を振り返り、さらに調べたいことやよくわからなかったことを整理し、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。
	ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学習した社会的事象を時代の特色や地域的特色をもとに概要を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自分で考え、判断しながらワークシートへの記入ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ グループ・班活動での話し合いに参加している。
	レポート	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 授業でのワークシートやペーパーテストなどがきちんと記入できている。 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 3. 学習に対して粘り強く取り組める。
	作品			
	行動観察			

数学		知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準		数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。
評価基準	単元テスト	観点別の平均得点	観点別の平均得点	観点別の平均得点
	記述 ノート ワークシート 振り返りシート レポート	<ul style="list-style-type: none"> 文章で説明をしたり、観察・実験したり、式やグラフで表現したりするなど知識や技能を習得している。 	<ul style="list-style-type: none"> 論述やレポート作成、発表、グループでの話し合いなどで、数学的な表現を用いて表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 答えが間違っていたとしても、正答と比較して改善していく態度や、さらに良い解き方はないか等を探している。 解決する上で困ったこと、うまくいかなかったこと等を表現している。 これまでの学習と関連付けてポイントを整理している。 他者の考えを聞いたり、対話したりして課題の解決をしようとしている。
	行動観察 発表 活動の様子			

理科		知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準		身近な科学的現象を日常生活や社会と関連付けながら理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付けている。	身近な科学的現象について問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、規則性や関係性を見いだして表現することができる。	身近な科学的現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価基準	単元テスト	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 観点別項目の平均得点 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 観点別項目の平均得点 	
	記述 ノート ワークシート レポート 振り返りシート	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学習した用語を適切に活用している。 ▶ スケッチや文章で適切に実験や観察結果を記録している。 ▶ 科学的現象の規則性を日常生活と関連付けながら基本的な概念や原理・法則などを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学習した用語・モデル・グラフを活用して記述している。 ▶ 理論と結果を比較して検討できる。 ▶ 写真やデータをもとに科学的現象について特徴を見出して表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 活用している用語や文章の量が適切である。 ▶ 試行錯誤しながら課題を解決しようとして記述している。 ▶ 実験結果をもとに課題を見出そうとしている。 ▶ 単元の学習内容に関して、自己の成長や変容を表現しようとしている。
	行動観察 発表 実技テスト 活動の様子	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 実験器具の操作方法を正しく身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学習した用語・モデル・グラフを活用して説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 他者の考えを聞いたり、対話したりして課題の解決をしようとしている。 ▶ モデルやグラフを用いて試行錯誤しながら科学的推論をしようとしている

英語		知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準		英語の特徴やきまりに関することを理解している。 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報や要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に主体的に取り組もうとしている。
評価基準	単元テスト	観点別項目の平均得点	観点別項目の平均得点	観点別項目の平均得点
	ノート ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新出文法について理解している。 ➤ 誤りのない正しい英文で表現できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自分の考えを詳しく述べたり、効果的に引用したりしながら、条件を満たしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自分の考えを詳しく述べたり、効果的に引用したりしながら、条件を満たしてやりとりしようとしている。
	パフォーマンステスト 行動観察	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 話題について、新出文法などを用いて、内容を即興で伝え合うことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 課題に対して、内容がわかりやすく適切できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 話題に対して、他者の考えを聞いたり、対話したりして課題の解決をしようとしている。

音楽		知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準		<p>【知識】曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解している。</p> <p>【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>
評価基準	記述	ワークシート 作品	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学習したことを踏まえて、分かったことや気付いたことを書いている。 ▶ 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて、自分の考えを書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学習内容に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。
	行動観察	活動の様子 発言の内容 演奏	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 表したいイメージを表現するための技能が身に付いている。 ▶ 音楽のよさや美しさについて、自分が感じ取ったことを根拠とともに発言することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ よりよい表現をするために、他者と関わり合いながら粘り強く取り組んでいる。 ▶ 他者に助言をしたり、他者からの助言を参考にして、自分の演奏を振り返ったり高めようとしている。

美術		知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準		形や色彩、材料、光等の性質や、それらが感情にもたらす効果を身近に感じることができる。 材料や用具を生かし、制作順序を考えながら、見通しをもって表現することができる。	対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。	美術の創作活動の喜びを味わい、楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組み、心豊かな生活を創造していく。
評価基準	作品	<ul style="list-style-type: none"> 作品制作において、材料や用具の生かし方などを身に付けて、ねらいに応じて工夫して表現している。 (ワークシート・完成作品) 	<ul style="list-style-type: none"> 対象から感じ取った形や色彩の特徴を基にテーマを生み出している。 (アイデアスケッチ・ワークシート・完成作品) 全体と部分との関係などを考え表現することができる。(アイデアスケッチ・ワークシート・完成作品) 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい表現を目指して構想や技能を改善工夫し、粘り強く取り組んでいる。(アイデアスケッチ・ワークシート・完成作品)
	行動観察	<ul style="list-style-type: none"> 表現に合わせて、道具や材料を効果的に扱うことができる。(活動の様子) 制作の順序などを考えながら、自分で考え見通しを持って活動している。(活動の様子) 	<ul style="list-style-type: none"> 作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げている。(活動の様子・発言の内容・鑑賞) デザインの目的や機能との調和を感じ取ることができる。(発言の様子・鑑賞) 	<ul style="list-style-type: none"> 他者の考えを聞いたり、対話したりして課題の解決をしようとしている。 (活動の様子) 根拠をもって、自分なりの意見を仲間に伝えている。(発言の内容・鑑賞)

保健体育		知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準		各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また個人生活における健康・安全について理解している。	自己や仲間の課題を発見し、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともにそれらを他社に伝えている。また個人生活における健康に関する課題を発見し、解決に向けて思考し判断している。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生に対する意欲をもち運動に主体的に取り組もうとしている。また健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復について取り組もうとしている。
評価基準	記述	テスト	<ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の課題解決に向けた取り組みや工夫したことについてワークシート・振り返りシートに記入できている。 	
		ワークシート		
		振り返りシート		
	行動観察	活動の様子	<ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の課題を発見し、工夫や対話をするなど仲間と協力して解決をしようとしている。 運動の取り組み方や工夫したことについて他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容を理解し、技能習得に向けて意欲的に取り組むことができている。
発言の内容				
グループ活動				
実技テスト				

技術		知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準		生活と技術について基礎的なことを理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価基準	記述	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 生活や技術に関わる知識を身に付けている。(テスト) ➤ ワークシートやレポートの記述内容。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 問題点に気づき、改善、修正する点などまとめできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ よりよい生活を目指し、自ら気づき、積極的に取り組んでいる。
	行動観察	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 生活や技術に関わる知識や技術を身に付けている。 ➤ 検査、点検など安全面に配慮できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 適切な技術を選択し、管理、修正、改善などできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 作品の製作や制作を通して、振り返り改善できる。

家庭科		知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準		<p>家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p>	<p>これからの生活をイメージし、衣・食・住・保育・消費といった身近な生活の問題を見だし、課題について考えて行動し、振り返りながら、課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>衣・食・住・保育について、よりよい生活の実現に向けて課題を解決するため、主体的に取り組んでいる。</p>
評価基準	記述・作品	<ul style="list-style-type: none"> ▶ スケッチや文章を適切に記録している。(ノート・ワークシート) ▶ 日常生活との関わりや目的に応じた活用について理解している。(テスト) ▶ 製作する物に適した材料や用具を使い、製作が適切にできる。(作品) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 身近な生活について問題を見出し、課題設定している。(ワークシート・作品・レポート) ▶ 目的や機能に応じて工夫しながら製作している。(作品) ▶ 活動を振り返りながら、考えを深めることができる。(レポート) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ よりよい生活を目指して構想や技能を改善工夫し、粘り強く取り組んでいる。(ワークシート・作品・レポート)
	行動観察	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 活動に合わせて、道具や材料を効果的に扱うことができる。(活動の様子) ▶ 調理実習・技能実習などにおいて、必要な技能を的確に身に付けている。(実習) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げている。(活動の様子・発言の内容・鑑賞) ▶ 課題解決に向けて考え、自分の生活と結び付けて表現することができる。(活動の様子・発言・作品) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 他者の考えを聞いたり、対話したりして課題の解決をしようとしている。(活動の様子) ▶ 根拠をもって、自分なりの意見を仲間伝えていく。(発言の内容)